


台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会 事業報告



令和8年3月



1. 葛屋重三郎と台東区 P 3
2. 台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会 P 4
3. 大河ドラマ館等整備事業 P 5
4. 区内回遊促進事業 P 1 1
5. 広報・プロモーション事業 P 1 4
6. その他の地域活性化事業 P 1 7

1. 葛屋重三郎と台東区

○葛屋重三郎とは

葛屋重三郎は、1750（寛延3）年に、江戸・新吉原（現在の台東区千束）で生まれた。

1772（安永元）年に吉原大門前に書店「耕書堂」を開業し、「吉原細見」や「黄表紙本」を出版する中で、平賀源内や大田南畝をはじめとした文化人らと交流を深め、黄表紙や洒落本等の話題作を次々と出版していった。

その後、寛政の改革により、財産の一部を没収される処罰を受けたが、東洲斎写楽や喜多川歌麿などの江戸文化を代表する絵師とともに江戸文化を代表するヒット作を発表し、「江戸のメディア王」として大成功を収めた人物である。

台東区は、江戸文化の発展に大きく寄与した、葛屋重三郎の故郷であり、活躍の原点となったゆかりの地である。



葛屋 重三郎
箱入娘面屋人魚3巻を加工
（国立国会図書館所蔵）



耕書堂（吉原大門前）
此奴和日本：2巻
（国立国会図書館所蔵）

○主なゆかりの地

正法寺（台東区東浅草1-1-15）

葛重は1797（寛政9）年に47歳で病没し、正法寺に埋葬された。墓は戦災等で失われたものの、菩提寺である正法寺には復刻された葛屋家の墓碑と重三郎母子顕彰碑が建てられている。



五十間道と耕書堂跡（台東区千束4-11付近）

見返り柳から吉原大門へと続くS字に曲がった通りが「五十間道」で、日本堤から吉原の様子が見えないよう工夫されていた。葛重はこの五十間道に書店「耕書堂」を開業し、プロデューサーとしての第一を踏み出した。



見返り柳（台東区千束4-10-8）

吉原遊郭への出入口となる日本堤には柳の木が植えられており、帰り客が名残を惜しみつつ、この柳のあたりで振り返ったことからこの名がついた。現在の柳は6代目と伝わっている。



吉原大門跡（台東区千束4-15付近）

吉原大門は、吉原遊郭の唯一の出入口で女性の出入りは厳しく監視されていた。門は関東大震災で焼失したのを最後に再建されることはなく、現在では大門の柱を模した「よし原大門」と書かれた街灯が立っている。



2. 台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会

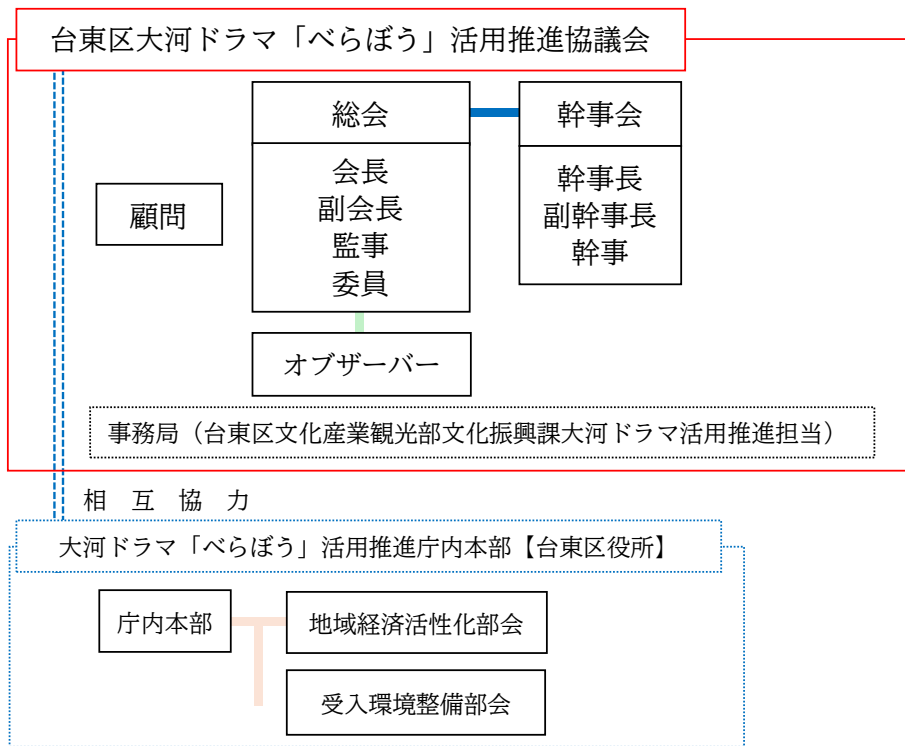
○目的

大河ドラマ「べらぼう」の放送を契機に、舞台となる台東区の歴史・文化の魅力を全国に発信するとともに、大河ドラマ館の整備や区内広域回遊の促進等により地域の活性化を図ることを目的とする

○設立日

令和6年1月26日(金) 活用推進協議会設立

○体制



○事業

大河ドラマ館等整備事業

【主な内容】

- 1 べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館の開設、運営
- 2 たいとう江戸もの市（お土産館）の開設、運営
- 3 台東区民会館共用部の装飾

区内回遊促進事業

【主な内容】

- 1 江戸新吉原耕書堂の開設、運営
- 2 薦重ゆかりの地 循環バスの運行
- 3 薦重ゆかりの地における案内板などの整備

広報・プロモーション事業

【主な内容】

- 1 ロゴマーク等の選定、活用
- 2 ホームページ・SNSの開設、運用
- 3 冊子、のぼり等の制作
- 4 鉄道、雑誌等への広告出稿

その他の地域活性化事業

【主な内容】

- 1 ドラマ出演者等を招聘したイベント等の開催
- 2 ゆかりの自治体との広域連携

3. 大河ドラマ館等整備事業

べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館

○概要

開設場所：台東区花川戸2-6-5 台東区民会館9階

開設期間：令和7年2月1日(土)～令和8年1月12日(月・祝)

開館日数：327日

開館時間：9時～17時（最終入館16時30分）

休館日：毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始等

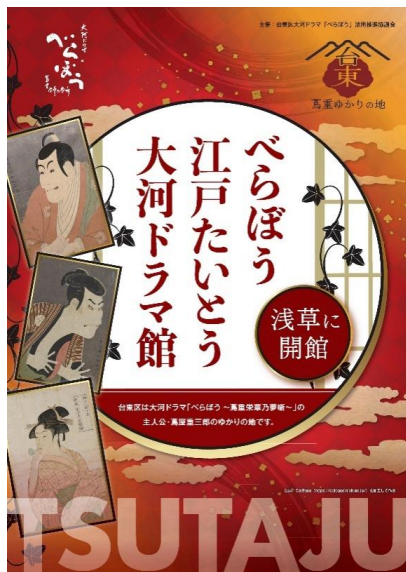
入館料：大人800円、小人400円ほか

主催：台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会

運営：株式会社JTB



建物外観（台東区民会館）



大河ドラマ館キービジュアル

○展示内容

登場人物の衣裳や小道具、葛重の活動拠点「葛屋」再現セットを展示したほか、出演者のインタビューやメイキング映像を交えたオリジナル映像を上映した。



エントランス



べらぼう入門編



五十間道ゾーン



企画展示コーナー



「葛屋」再現セット

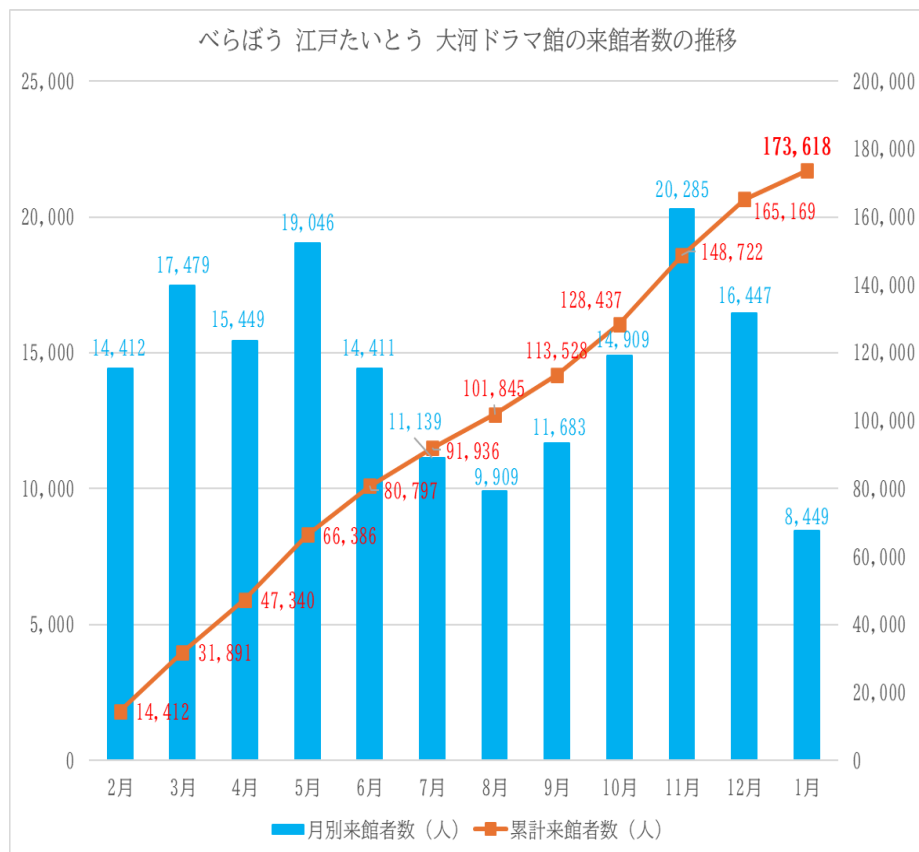


仲ノ町ゾーン

3. 大河ドラマ館等整備事業

○来館者数

- ・大河ドラマ館の来館者は、合計173,618人だった。
- ・5月は大型連休もあり来館者数が伸びたが、夏季は猛暑の影響等もあり伸び悩んだ。10月からは、秋の行楽シーズンやドラマ終盤の盛り上がりもあり、回復傾向となった。
- ・来館者の傾向について、来館者アンケートからは、女性が約7割、50代と60代で約6割という結果が得られている。



○入館料 (基本料金)

種類	区分	金額	購入方法
個人	大人 (中学生以上)	800円	・台東区民会館9階 (券売機、受付窓口)
	小人 (小学生)	400円	
団体 ※20名以上	大人 (中学生以上)	640円	・WEB販売 (電子チケット)
	小人 (小学生)	320円	
年間 パスポート	大人 (中学生以上)	2,500円	・台東区民会館9階 (受付窓口)
	小人 (小学生)	1,300円	

※ 未就学児は無料、障害者手帳等をお持ちの方及び付添人1名は無料

○主な割引施策

- ・台東区立文化施設等との相互割引 利用者2,300人

台東区立一葉記念館、特別展「蔦屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」(東京国立博物館平成館)など

- ・ゆかりの地ウィーク (対象の都民・県民、台東区民は半額)
 - 松平定信ウィーク 利用者322人 (福島県民・台東区民)
 - 田沼意次ウィーク 利用者438人 (静岡県民・台東区民)
 - 蔦重・北斎ウィーク 利用者869人 (東京都民・台東区民)
 - 喜多川歌麿ウィーク 利用者583人 (栃木県民・台東区民)
- ・台東区民無料入館 利用者3,371人

期間：令和7年12月12日(金)～令和8年1月12日(月・祝)

3. 大河ドラマ館等整備事業

○来館記念証

- ・大河ドラマ館入館時に来館記念証を配布した。「葛重ゆかりの地 循環バス」の乗車や来館者限定イベントの参加においても提示する必要がある。
- ・裏面には、来館の記念に重ね捺しスタンプで浮世絵摺り体験ができる仕掛けを施した。
- ・通常版とは別に来館の記念にコレクションできる特別版を制作し、期間・数量限定で配布した。

【通常版】



来館記念証（表面）

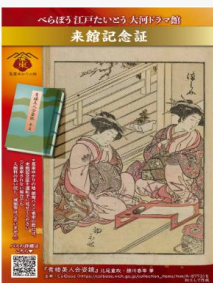


（裏面）



完成する浮世絵

【特別版の例】



青楼美人合姿鏡



画本虫ゑりみ



○運営事業者による誘客宣伝及びイベント等

◆PR活動

- ・ポスター・チラシの制作及び配布
- ・浅草寺境内での看板設置及びチラシ配布
- ・旅行商品造成に関する営業活動
- ・ノベルティの制作及び配布
- ・葛重ゆかりの地 台東区 浮世絵ガシャポン®の設置
- ・葛重ゆかりの地 台東区 応援キャンペーン

等

【ノベルティの例】



通行手形風ステッカー
（ゆかりの地ウィークで配布）



オリジナルカード
（期間限定配布）



缶バッジ
（閉館記念として）

【浮世絵ガシャポン】



葛重に関する浮世絵等のガシャポンを制作し、区内14箇所を設置

【応援キャンペーン】



ステッカー貼付等により、地域全体で盛り上げりを創出（申込479件）

◆イベント等

- ・大河ドラマ館オープニングセレモニー
- ・松山恭助選手 大河ドラマ館1日館長就任
- ・江戸から東京、今につづくエコな暮らし展
- ・江戸文化体験デー（落語、木版画の摺実演等）
- ・来館者10万人達成
- ・大河ドラマ館ガイドツアー
- ・来館者からのメッセージ掲出
- ・ありがた山キャンペーン

等



オープニングセレモニー



江戸文化体験デー(木版画摺実演)



ガイドツアー



来館者からのメッセージ掲出

【ありがた山キャンペーン】

期間：令和8年1月10日(土)～12日(月・祝)

内容：江戸日本髪結髪実演会

和綴じメモ帳 制作ワークショップ

鈴木俊幸先生によるトークイベント

ステージイベント（創作手妻、江戸太神楽）

閉館にあたっての挨拶

等



結髪実演会



トークイベント



ステージイベント



閉館にあたっての挨拶

3. 大河ドラマ館等整備事業

たいとう江戸もの市

○概要

場 所：台東区花川戸2-6-5 台東区民会館9階

営業期間：令和7年2月1日(土)～令和8年1月12日(月・祝)

営業日数：327日

営業時間：9時～17時

休業日：毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始等

入館料：無料

運 営：株式会社JR東日本クロスステーション

○コンセプト・装飾

・『台東区ならではの土産品や「江戸もの」などを見ながら、江戸の「市」を体感できる土産館』をコンセプトに整備した。

・葛重が関わった作品や台東区の観光・産業をパネル展示で紹介するなど、単なる土産品の購入だけでなく、ミニギャラリーのように楽しめる空間とした。



たいとう江戸もの市入口



キービジュアル

○取扱商品

台東区や大河ドラマ「べらぼう」、江戸に関する商品(食品、工芸品・雑貨等)など、延べ864品を取り扱い、浮世絵をモチーフとした商品や「べらぼう」公式ライセンス商品、台東区のお菓子などが売れ筋だった。

【浮世絵をモチーフとした商品の例】



葛屋重三郎缶 ポップイン缶



当時三美人



京傳手ぬぐい

【「べらぼう」公式ライセンス商品の例】



どらやき



瓦せんべい

【台東区のお菓子の例】



舟和芋けんぴ



電気ブラン
レーズンサンド



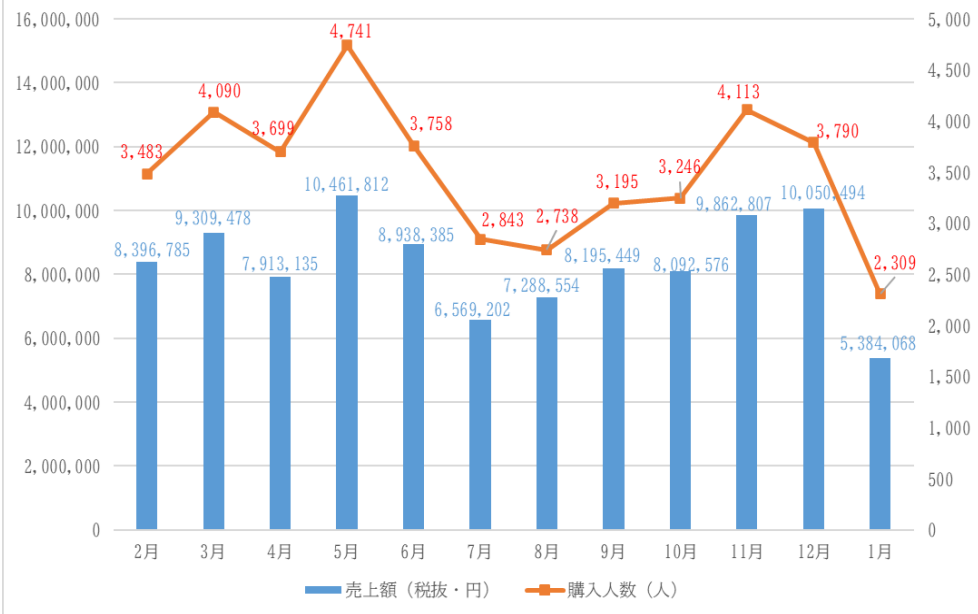
王のかきたね
すき焼きおかき

3. 大河ドラマ館等整備事業

○売上実績

売上金額は100,462,745円(税抜)だった。なお、購入者数は42,005人、平均単価は約2,400円だった。

たいとう江戸もの市の売上実績



○運営事業者による誘客宣伝及びイベント等

割引企画やSNSでの情報発信、首都圏JR主要駅での出張販売などを実施した。



クーポンイメージ



Xイメージ



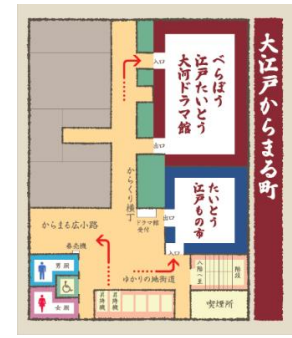
大宮駅での出張販売

台東区民会館共用部の装飾

大河ドラマ館来館者の満足度向上等のため、「江戸情緒を感じられる空間」をコンセプトに台東区民会館共用部の装飾を行った。大河ドラマ館のある台東区民会館9階は、フロア全体を「大江戸からまる町」と称し、江戸のまちに見立てた空間に整備した。



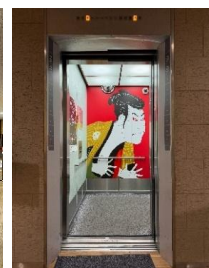
大江戸からまる町 (ロビー付近)



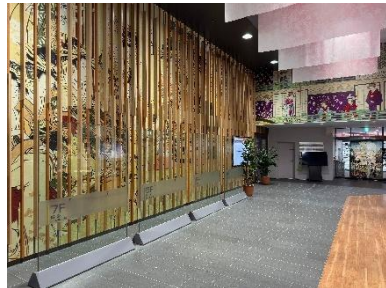
大江戸からまる町全体図



9階廊下の壁面装飾 (見る角度で絵柄が変化)



E V内部



1階ロビー



建物入口 (西側)

江戸新吉原耕書堂

○概要

場 所：台東区千束4-24-12 吉原会館

期 間：令和7年1月18日(土)～令和8年1月12日(月・祝)

営業日数：357日間

営業時間：10時～17時

休業日：毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始等

運 営：新吉原耕書堂運営委員会

○コンセプト・装飾

吉原六ヶ町会の町会会館「吉原会館」を賃借し、蔦重が吉原大門前に開業した「耕書堂」を模したデザインに整備した。



建物外観



内観

○運営

吉原六ヶ町会及び吉原商店会で構成する「新吉原耕書堂運営委員会」に運営を委託し、地域密着型の運営を行った。

○施設の機能

ドラマの放送を機に舞台地である吉原を巡る来訪客の増加が予想されたことから、ゆかりの地巡りの拠点施設として開設した。

店内では、吉原の成り立ちや史跡、蔦重との関わりを紹介するパネル展示のほか、映像による観光案内や土産品の販売などを行った。

また、高下駄や「吉原細見」複製本の展示等により当時の風習や蔦重と平賀源内ら文化人との交流などを案内した。



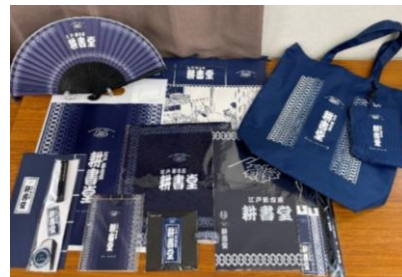
高下駄の展示



「吉原細見」複製本の展示

○取扱商品

オリジナル商品を中心に、食品・雑貨等延べ578品を取り扱った。特に「江戸新吉原耕書堂」の名入れ商品や、ドラマで蔦屋重三郎を演じた横浜流星さんが好んだ紫色を使用した商品が売れ筋で、「つたいやん」商品も多く取り扱った。



耕書堂名入り商品の例

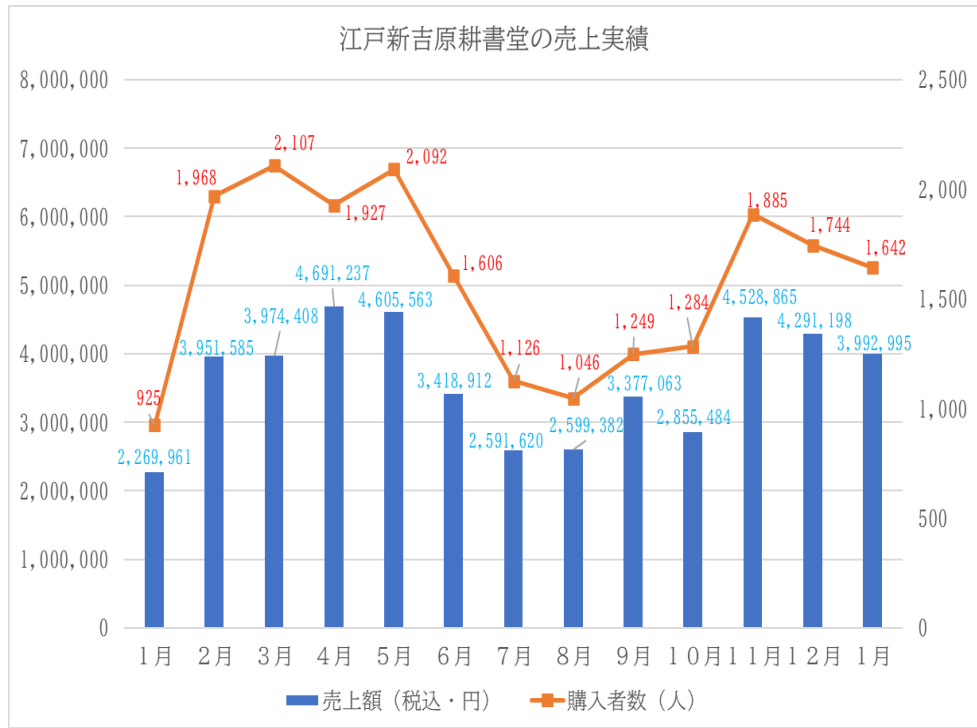


「つたいやん」関連商品の例

4. 区内回遊促進事業

○売上実績

- ・売上金額は47,148,273円(税込)だった。なお、購入者数は20,601人で、平均単価は約2,300円だった。
- ・お土産を購入しない来訪者数のカウントは行っていないが、ドラマの舞台が吉原だった上半期は、常時多くの来客があり、土日は店外に人が溢れるほど満員になることもあった。
- ・一方で、夏季は猛暑の影響でゆかりの地を巡る観光客が減り、来訪者や売上は下落したものの、気候の落ち着いた秋頃から回復し、閉館前には連日満員となる盛況ぶりだった。



○運営事業者による誘客宣伝及びイベント等

- ・チラシ配布やSNSによる情報発信
- ・ノベルティの配布
- ・「酉の市」にあわせた夜間特別オープン
- ・年始営業～閉店までの最終セール
- ・「お休み処 桂茶」の運営 等



Xイメージ



ノベルティー例



「酉の市」夜間営業



営業最終日の様子

4. 区内回遊促進事業

葛重ゆかりの地 循環バス

○概要

運行期間：令和7年2月1日(土)～令和8年1月12日(月・祝)

運行時間：10時～17時（大河ドラマ館発最終16時40分）

運行間隔：おおよそ20分間隔

乗車定員：9名（運転手除く）

対象：大河ドラマ館来館者、

江戸新吉原耕書堂での入館券購入者

運賃：無料

運休日：毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始等

乗降場所：大河ドラマ館、正法寺、平賀源内墓所、

江戸新吉原耕書堂、浅草見番※令和7年10月4日(土)以降通過

運営：株式会社JTB

○利用状況

延べ62,314人の方の利用があった。

正法寺や江戸新吉原耕書堂での乗降も多く見受けられ、13時～15時の時間帯には、満席となることが多く、徒歩ルートでの案内を行うこともあった。

	令和7年												令和8年	合計
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
乗車人数(延べ人数)	4,216	6,132	5,894	5,800	6,235	5,069	4,916	5,022	5,368	6,899	4,314	2,449	62,314	

○乗降場所

大河ドラマ館のある台東区民会館を起点として、葛重の菩提寺である正法寺や江戸新吉原耕書堂などを乗降場所とした。



車両デザイン



循環バスルート図

葛重ゆかりの地 史跡整備

○葛重と地域との関わりを掲載した説明板等を設置

○のぼり旗の掲出



説明板「葛屋重三郎と吉原」



のぼり旗

5. 広報・プロモーション事業

ロゴマーク等の選定・活用

〇概要

ロゴマーク等4点を全国公募を行い、選定した。選定後は、広く活用いただけるよう、協議会への事前申請により、無償で使用できるものとした。

【ロゴマーク】



【マスコットキャラクター】



【PRイラスト】



【キャッチコピー】

葛重の 夢が息づく 粋なまち

「つたいやん」

〇活用事例

ロゴマーク等は83件の事業者(個人含む)より申請があり、延べ106件の使用報告があった。主にロゴマーク等を商品に貼付した販促や雑貨・チラシなどに活用され、商品は江戸新吉原耕書堂などで取り扱われた。



ロゴマークを商品に貼付した例



雑貨での活用例



ユニクロ (UTime!) での展開

ホームページ・SNSの開設・運用

〇「葛重ゆかりの地 台東区」公式サイト

総ユーザー数 559,010人
総ページビュー数 1,650,178



「葛重ゆかりの地 台東区」公式サイト

〇協議会公式X「葛重ゆかりの地 台東区」

- ・投稿数 541件 (令和8年2月末まで)
- ・フォロワー数 3,799人 (同上)



葛重ゆかりの地 台東区 認定される
@tsutaju_taito
台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会公式X
マスコットキャラクターの「つたいやん」と共に、#葛重ゆかりの地 やイベントなどの情報を発信します！当アカウントは情報発信専用につきリプライなど個別対応は原則行いません。
#べらぼう #大河べらぼう #台東区 #葛屋重三郎 #大河ドラマ館 #葛重の夢が息づく 粋なまち
© 東京都台東区 | @taito-tsutaju.jp | 2024年7月からXを利用しています >

公式X トップ

葛重ゆかりの地 台東区 @tsutaju_taito · 2024年12月18日
#葛屋重三郎 が開業した「#耕書堂」を模した観光拠点施設を開設します🎉
#葛重ゆかりの地 通りの拠点として利用できるほか、#お土産 も販売いたします。
令和7年1月18日(土) 大河ドラマ館・お土産館に先駆けてのオープンです！ぜひお越しください！
詳しくはこちら
taito-tsutaju.jp/features/know-...



投稿の例

冊子・のぼり等の制作

○NHK財団との相互協力による小冊子・ポスター制作

A4判全8ページの小冊子を30万部、ポスターを1,000部制作し、大河ドラマ館等に配架した。



相互協力冊子

○小学生向け小冊子「葛屋重三郎と江戸文化」の発行

葛重の生涯等について、小学生でも読みやすい内容にまとめた小冊子を6,000部制作し、区立小学校の3～6年生に配布した。



小学生向け小冊子

○のぼり・フラッグ等

- ・大河ドラマ「べらぼう」の題字を掲載したのぼりの掲出
- ・商店街街灯や商店街アーケード等にフラッグ・横断幕を設置
- ・浅草ROX及び上野マルイに懸垂幕を設置



のぼり旗



フラッグイメージ



横断幕設置の例

その他PRグッズ等

- PRグッズ制作
- 大河ドラマ館広報用動画制作
- 「つたいやん」着ぐるみ製作

等

【PRグッズの例】

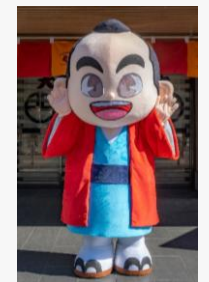


ピンバッチ



ボールペン

【「つたいやん」着ぐるみ】



5. 広報・プロモーション事業

鉄道・雑誌等への広告出稿

○鉄道への広告出稿

東京メトロ、東京都交通局、JR東日本、東武鉄道、京成電鉄、首都圏新都市鉄道の各社に広告出稿を行い、駅構内へのポスター掲出や車内デジタルサイネージでの動画放映等を実施した。

【鉄道広告の例】



○雑誌等への広告出稿

NHK大河ドラマ「べらぼう」公式ドラマガイドやるるぶ東京'26などに広告出稿を行った。

また、計30を超える旅行雑誌等にも大河ドラマ館等の情報が掲載された。



出稿広告イメージ

台東区大河ドラマ活用応援大使の任命

いとうせいこうさん、友吉鶴心さん、堀口茉純さん、山田五郎さんの4名を応援大使に任命し、取組みをPRいただいた。



いとうせいこうさん



友吉鶴心さん



堀口茉純さん



山田五郎さん

その他、各種イベント等でのPR

【PRの例】



奥浅草伝統まつり



うえの桜フェスタ



TXプラザ秋葉原



展示「浮世絵で巡る台東区」

6. その他の地域活性化事業

初回放送パブリックビューイングin台東

日 時：令和7年1月5日(日) 17時～19時50分
 会 場：浅草ビューホテル4階 飛翔
 参加費：無料
 参加者：674人（応募総数12,694人）
 出演者：横浜流星（葛屋重三郎役）、小芝風花（花の井役）、
 愛希れいか（朝顔役）、中村蒼（次郎兵衛役）、
 渡邊斗翔（唐丸役） ※敬称略
 主催：台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会
 共催：NHK首都圏局、台東区



出演者による記念撮影

江戸たいとう葛重まつり

日 時：令和7年5月31日(土) 10時～17時
 ※荒天により、14時以降のプログラムは中止
 会 場：隅田公園山谷堀広場ほか
 参加費：無料
 来場者：約600人
 主催：台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会
 共催：台東区



トークイベント



浅草芸妓・翳間によるお座敷芸



江戸吉原座敷の場



ゆかりの自治体ブース

6. その他の地域活性化事業

講演会等

○講演会「葛屋重三郎の仕事に迫る」

日時 令和6年12月1日(日)

参加者数 253人

○講演会「葛屋重三郎の仕事と時代」

日時 令和7年6月22日(日)

参加者数 234人

○浮世絵木版画摺実演会

日時 令和7年7月19日(土)

参加者数 計267人

○江戸日本髪 結髪実演会

日時 令和7年9月27日(土)

参加者数 計357人



葛屋重三郎の仕事と時代



浮世絵木版画摺実演会



江戸日本髪 結髪実演会

台東区立千束小学校との連携

地元の台東区立千束小学校で実施された江戸の町人文化と葛重を学ぶオリジナル授業に協力し、授業の成果を台東区民会館9階に掲出した。



掲出の様子

ゆかりの自治体との広域連携

大河ドラマ「べらぼう」を活用し、地域活性化やPRに取り組む自治体と連携・交流し、パンフレットの相互配架やイベントでの相互出展等によるPR活動を展開した。

- 東京都中央区（葛屋重三郎が後半生を過ごした地）
- 東京都墨田区（葛飾北斎が生涯のほとんどを過ごした地）
- 栃木県栃木市（喜多川歌麿が逗留し名作を描いた地）
- 静岡県牧之原市（田沼意次が藩主を務めた地）
- 福島県白河市（松平定信が藩主を務めた地）



台東区民会館9階ロビーでのパネル掲出



「とちぎ歌丸シェ」への出展

「まきのはら産業フェア」への出展

葛屋重三郎ゆかりの地
台東区



つたいやん

葛屋重三郎の
夢が息づく
粹なまち